

令和7年度 第3回川西市地域クラブ活動推進協議会 議事要旨

令和8年3月30日(月) 14:00～

川西市役所 庁議室

【おもに中学生の意見に基づく交流】

《中学生からの意見》

- ・地域クラブでは、部活動と比べて、熱心に取り組む生徒が多いと感じている。
- ・自転車で参加できることや、スマートフォンの持参が認められている点は利点である。
- ・他校の生徒と一緒に活動できることは刺激になり、良い経験になっている。
- ・活動時間については、18時45分頃から開始し、21時頃まで行っている地域クラブもあり、放課後の時間をそのまま活動に充てられない点が課題である。
- ・土日や祝日にも活動があり、活動日数が増えている。
- ・部活動と比べて費用が高く、ユニフォームの購入など、家庭の負担が大きいと感じている。
- ・活動日が増えることで、塾と重なる場合があり、どちらを優先するか悩むことがある。

《中学生からの補足発言》

- ・平日は18時45分頃から21時まで活動しており、月曜日・水曜日が中心で、4月からは木曜日も予定している。土日祝日は、いずれか一日または祝日に活動している。
- ・塾と重なった場合は、保護者と相談の上、地域クラブの活動を優先している。
- ・一度帰宅してから参加している。雨天時は徒歩、晴天時は自転車で参加している。

[教育委員会事務局の回答]

- ・地域クラブでは、これまで教員がほとんど無償で担ってきた部活動指導を、地域の指導者が担う形となっている。
- ・指導料や交通費、大会参加費、保険料、消耗品の購入などが必要となり、部活動と比べ参加費が高くなっている。
- ・専門的な指導を受けられる点や、目的意識を持った生徒が集まる点は地域クラブの利点である。
- ・教育委員会として、物品購入等について支援を検討している。
- ・公共施設については、地域クラブが利用しやすいよう対応を進めている。

[出席者からの意見] (おもに放課後の居場所づくりについて)

- ・放課後の居場所については、図書室開放や学習会の実施、絵を描くことが好きな生徒向けの居場所づくりや、不定期でのイベント開催など、各中学校で工夫して取り組みを検討している。
- ・一方で、教職員の勤務時間を踏まえると、対応可能な時間帯には限りがある。

[出席者からの意見]

- ・費用負担や活動時間が遅いことについて、保護者として懸念がある。
- ・夜間や自転車による移動に係る安全確保が重要である。
- ・車での送迎は認められているのか。

[教育委員会事務局の回答]

- ・車での送迎を推奨しているわけではないが、終了時間が遅い場合、選択肢として認めている。

[出席者からの意見]

- ・今後もさまざまな形での移動が想定されるため、安全確保に向けて引き続き検討していただきたい。

【令和８年度予算化した取組について】

《教育委員会事務局より》

- ・川西市地域クラブ移行支援補助金について、１クラブあたり一定額の補助を検討している。
- ・備品や消耗品の購入費用を補助対象とする予定である。
- ・中体連大会参加に必要な資格取得についても支援を検討している。
- ・学校備品楽器の購入および修繕費について、吹奏楽を中心に支援を行う。
- ・地域クラブポータルサイトの機能強化を進めている。
- ・放課後の居場所づくりについて、学校への支援を行う。
- ・地域クラブコーディネーターを配置し、現場訪問や相談対応を行う。
- ・研修動画システムを導入する。
- ・地域クラブ主催の新規大会・発表会について、支援を行う。

[出席者からの意見]

- ・費用負担については、多くの関係者が課題として認識している。
- ・保険料補助など、公平で分かりやすい支援の在り方を検討できないか。

[教育委員会事務局の回答]

- ・保険料については、複数の地域クラブに参加している生徒もあり、取り扱いも含め検討の段階である。

[出席者からの意見]

- ・地域クラブの制度や参画までの仕組みが分かりにくく、指導者が参加しにくいとの声もあった。指導者は「ややこしいことに関わりたくない」と思っている人もいる。
- ・地域クラブの運営が継続できていない例もあり、実情を共有することが必要である。

[出席者からの意見]

- ・例えば、複数の学校が集まって活動している地域クラブもある。そうすると、交通費がかかることもある。また、従来の時間に活動したいという子どもの意見も分かる。保護者がお金をかけたくないという気持ちも分かる。
- ・一方で、指導者は仕事の調整も含め、ほぼボランティアで活動している。今までは教員が無償で請け負っていた。指導者もできる限り調整して活動している。
- ・長い間この仕組みを続けていくためには、お互いが少しずつ我慢して、それぞれが歩み寄って活動していくことが必要であると感じている。

[出席者からの意見]

- ・必要な補助は、指導料である。大学生のボランティアなどに指導料を支払っているが、この補助金は当てはめられないのであれば、各地域クラブ間で格差がある。
- ・15名ほどの参加者のうち、数名は塾があるために活動を早退している。
- ・参加していた中学生は言いにくいこともあるかもしれないが、他の地域クラブの実情を展開してもらえれば、保護者や参加者も判断しやすいのではないか。

[出席者からの意見]

- ・公平性の観点であれば、保険料を補助するのであれば分かりやすい。消耗品などの共有物品への補助といっても、地域クラブによって必要な物品に差がある。
- ・地域クラブコーディネーターの配置について、学校の先生に対応してもらえるのか。地域クラブ活動をしていて、学校との連携が重要であると考えている。コーディネーターが地域クラブに参加している生徒のことを知っているかどうか重要であると考えている。

[教育委員会事務局の回答]

- ・地域クラブコーディネーターについては、後日の担当者会にて紹介するが、ご退職された校長先生や元教員であり、地域クラブの活動にも知見がある。
- ・学校とのコンタクトもとりのやすい人を採用し、地域クラブと学校を繋ぐ役割も担っていただこうと考えている。

【令和8年度以降の取組等について】

《教育委員会事務局より》

- ・地域クラブ担当者会、全体交流会、推進協議会を定期的に開催する予定である。
- ・新規大会・発表会については、文化系・運動系それぞれで検討を進めている。
- ・人材バンクを活用し、指導者確保に引き続き取り組む。

- ・川西市文化・スポーツ振興財団とも連携し、研修や事務面での支援を検討する。

[出席者からの意見]

- ・現在は、教育委員会事務局が主体的に関わっている。
- ・市としても文化芸術基本方針に関連して、中学校の文化活動を支援していくこととしている。
- ・運動についても、同様の対応をとる予定である。

[出席者からの意見]

- ・新規大会及び発表会について、文化系は原案でよいと考えている。
- ・運動系はそれぞれ大会があるため、大会参加を呼びかけられても困る団体もあると思う。

[教育委員会事務局の回答]

- ・新規大会や発表会の開催については、白紙の状態から指導者の意見を募っている。
- ・全種目で絶対に大会を開催しなければならないわけではない。
- ・参加する否かも含め地域クラブに委ねている。

[出席者からの意見]

- ・中学校体育連盟（中体連）の主催大会では、令和８年度から本格的に地域クラブの活動が参入してくることとなる。国の方針としても、令和８年～令和１３年までの期間が改革実行期間とされたこともあり、令和１３年までは中体連の組織は残ると考えている。
- ・令和８年の中体連の主催大会に関しては、地域クラブと教員が協力しながら対応していく。
- ・国のガイドラインでも、活動日等の制限が変更されたことにより、今後は、中体連の主催大会により地域クラブが参入しやすい条件が整いつつあると考えている。

【閉会挨拶】

- ・令和８年４月から学校部活動が地域クラブへ完全移行する。
- ・川西市として、子どもたちの意見を大切にしながら体制整備を進めていく。